

APRC-FY2022-PD-CHN04

海外の政策文書

原文： 国务院关于全面加强基础科学研究的若干意见（中華人民共和国國務院）2018年1月

URL： http://www.gov.cn/zhengce/content/2018-01/31/content_5262539.htm

【中国】

基礎科学研究の全面的強化に関する國務院の若干の意見

(Tentative translation)

【仮訳・編集】

国立研究開発法人科学技術振興機構

アジア・太平洋総合研究センター

【ご利用にあたって】

本文書は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（Asia and Pacific Research Center；APRC）が、調査研究に用いるためアジア・太平洋地域の政策文書等について仮訳したものとなります。APRCの目的である日本とアジア・太平洋地域との間での科学技術協力を支える基盤構築として、政策立案者、関連研究者、およびアジア・太平洋地域との連携にご関心の高い方々等へ広くご活用いただくため、公開するものです。

【免責事項について】

本文書には仮訳の部分を含んでおり、記載される情報に関しては万全を期しておりますが、その内容の真実性、正確性、信用性、有用性を保証するものではありません。予めご了承下さい。

また、本文書を利用したこと起因または関連して生じた一切の損害（間接的であるか直接的であるかを問いません。）について責任を負いません。

APRCでは、アジア・太平洋地域における科学技術イノベーション政策、研究開発動向、および関連する経済・社会状況についての調査・分析をまとめた調査報告書等をAPRCホームページおよびポータルサイトにおいて公表しておりますので、詳細は下記ホームページをご覧ください。

（APRCホームページ） <https://www.jst.go.jp/aprc/index.html>



（調査報告書） <https://spap.jst.go.jp/investigation/report.html>



本資料に関するお問い合わせ先：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（APRC）

Asia and Pacific Research Center, Japan Science and Technology Agency

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ

Tel: 03-5214-7556 E-Mail: aprc@jst.go.jp

<https://www.jst.go.jp/aprc/>

成文日：2018年01月19日

発布日：2018年01月31日

基礎科学研究の全面的強化に関する国務院の若干の意見

国発〔2018〕4号

各省・自治区・直轄市人民政府、国務院各部・委員会、各直属機関：

強大な基礎科学研究は世界的な科学技術強国を建設するための基盤となる。現在、新たな科学技術革命と産業変革が盛んに行われ、科学的な探索が加速度的に進められ、学際的な融合がさらに緊密になっており、一部の基本的な科学的課題は、重大な飛躍的進歩を遂げる可能性をはらんでいる。世界の主要先進国はおしなべて基礎研究の戦略的計画を強化しており、世界の科学技術競争は基礎研究へと移りつつある。長年の発展を経て、中国の基礎科学研究は長足の進歩を遂げ、全体のレベルが著しく向上し、国際的影響力が日増しに高まっており、経済・社会の発展を支え、リードする役割が絶えず増強されている。しかし世界的な科学技術強国を建設するための要求と比べると、中国の基礎科学研究の不足が依然として際立ち、数学など基礎学科は依然として最も弱い部分であり、重大な独創性ある成果が少なく、基礎研究への投資が不足しており、構造が合理的ではなく、トップレベルの人材やチームが不足、評価・奨励制度は整備が必要で、企業の重視が不足、社会全体の基礎研究を支える環境をさらに最適化する必要がある。基礎科学研究をさらに強化し、独自のイノベーション能力を大幅に高め、イノベーション型国家と世界的な科学技術強国になるための基礎を固めるために、以下のような意見を提起する。

1、全体要求

(1) 指導思想

中国共産党第19回全国代表大会の精神（十九大精神）を全面的に貫徹し、習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想を指針として、「イノベーション、協調、グリーン、開放、共有」という新発展理念を貫徹し、党中央と国務院の政策・決定にもとづいて、科学教育興国戦略とイノベーション駆動型発展戦略を踏み込んで実施し、科学技術の第一の生産力としての作用を十分に発揮させ、イノベーションによる発展牽引の第一の原動力としての作用を十分に発揮させ、世界の科学技術の最先端に照準を合わせ、基礎研究を強化し、科学技術体制改革を深化させ、基礎研究と応用研究の全体的なイノベーションと発展を促進し、プロスペクティブ基礎研究と他をリードする独創性ある成果の重大な飛躍的進歩の実現に力を注ぎ、イノベーション能力を全面的に引き上げ、イノベーション型国家と世界的な科学技術強国の建設を全面的に推進し、社会主義現代化強国の建設加速と中華民族の偉大な復興という中国の夢の実現に向けて強大なサポートを提供する。

(2) 基本原則

科学の法則を遵守し、分類指導を堅持する。科学研究におけるインスピレーションの瞬間性、方法の随意性、アプローチの不確定性という特徴を尊重し、イノベーションに資する環境と文化を醸成し、科学者が自由に発想し、大胆に仮説を立て、真摯に証明を求めるよう奨励する。自由な探求と目標による指導との有機的な結合を後押しし、自由探究型基礎研究では、未知の科学的課題への探求に焦点を合わ

せ、科学の高峰を果敢に目指す。目標指導型基礎研究では、経済・社会の発展ニーズをしっかりと結びつけ、戦略分野における将来を見据えた計画を強化する。

オリジナルイノベーションを強く打ち出し、全体的発展を促進する。オリジナルイノベーション能力の引き上げをより際立った位置に置き、イノベーションの自信を固め、最先端の科学的課題に果敢に挑戦し、より多くのオリジナル理論を打ち出し、より多くのオリジナルな発見を行う。科学と教育の融合、軍と民間の融合、産学研の踏み込んだ融合を強化し、ニーズによる牽引を堅持し、基礎研究と応用研究、産業化のマッチングと融合を促進し、異なる業界と分野のイノベーション要素を効果的にマッチングさせる。

体制メカニズムを革新し、イノベーションの活力を増強する。人を指針とすることを強く打ち出し、科学研究プロジェクトと経費管理の改革を深化させ、自由度の高い科学研究環境を醸成し、科学研究者が長期的に基礎研究に専念できるようにする。分類評価メカニズムを整備し、科学者、科学研究院・研究所、大学、企業などの積極性と創造性を引き出す。政府の管理方式を変革し、企業が基礎研究を強化し、市場競争力を高めるよう導く。

協同・イノベーションを強化し、開放・協力を拡大する。ビッグサイエンス、ビッグデータ、インターネット時代の新たな要求に適応し、科学研究活動の協同・協力、クラウドソーシング・クラウドファンディングといった新たな方法を積極的に模索し、科学の難題を解決し、イノベーション成果を共有する。世界的な視野を堅持し、人材育成メカニズムを革新し、多方面から人材を導入し、知識を結集する。主体的に世界のイノベーションネットワークに加わり、イノベーション能力の開放・協力を強化し、国際協力の新たな場を築き、共同で世界が注目する重大な科学の課題に取り組む。

安定的支援を強化し、研究開発投資構造を最適化する。中央財政の基礎研究に対する安定的支援にさらに力を入れ、多元化した基礎研究投資メカニズムを構築し、地方や企業、社会勢力が基礎研究への投資を増やすよう導き、奨励する。安定的な支援と競争的な支援が互いに協調する投資メカニズムを構築し、科学研究、人材育成、拠点建設の全面的発展を後押しする。

(3) 発展目標

2020年までに、中国の基礎科学研究の全体レベルと国際的な影響力を著しく高め、いくつかの重要分野で世界の先進グループに仲間入りし、科学の先進的な重要方向において重大なオリジナルの科学成果を成し遂げ、国家戦略の必要性に応じたプロスペクティブな 重大科学問題を解決し、イノベーション駆動発展をサポート・リードするおおもとの供給能力を著しく増強し、小康社会（ややゆとりのある社会）の全面的な完成とイノベーション型国家への仲間入りのために力強い支えを提供する。

2035年までに、中国の基礎科学研究の全体レベルと国際的影響力を大幅に引き上げ、より多くの重要分野で世界の発展をリードし、世界の科学技術の発展と人類文明の進歩にとって重要な影響を持つオリジナルの科学成果を生み、社会主義現代化をほぼ実現し、イノベーション型国家の先頭に立つための基礎を固める。

今世紀中頃までに、中国を世界の主な科学センターとイノベーション拠点とし、重大なオリジナルの科学成果を成し遂げ、国際的にトップレベルの科学者を輩出し、富強民主文明が調和した美しい社会主義現代化強国と世界の科学技術強国となるために強大な科学的サポートを提供する。

2、基礎研究配置 の整備

(4) 基礎研究システム配置を強化する。教育から着手することを堅持し、基礎科学研究に専念してこれを強化し、数学や物理など重点基礎学科により傾斜する。学科配置を整備し、基礎学科と応用学科がバランス良く協調的に発展するよう促し、学際的な科学研究の展開を奨励し、自然科学や人文社会科学など異なる学科間の学際的融合を促進する。基礎的かつ最先端の科学研究を強化し、宇宙の進化、物質の構造、生命の起源、脳と認知などをめぐり探求を展開し、量子科学、脳科学、合成生物学、空間科学、深海科学など重大な科学的課題の先行配置を強化する。応用基礎研究を強化し、経済・社会の発展と国家安全保障の重大なニーズをめぐって、キーとなる基盤技術、先端リーディング技術、現代エンジニアリング、画期的技術のイノベーションを強く打ち出し、農業や材料、エネルギー、ネットワーク情報、製造・プロジェクトなどの分野や業界に力を集中させて重大な科学的課題を攻略する。民生の改善と持続可能な発展の促進という差し迫ったニーズをめぐり、資源と環境や人々の健康、新しい都市化、公共の安全などの分野で基礎科学研究をさらに強化する。将来的に革新的技術が生まれることが見込まれる基礎科学分野に焦点を合わせ、重大なオリジナル研究と最先端学際研究を強化する。

(5) 国家科学技術計画基礎研究支援体系を最適化する。根源的イノベーションを支えるという国家自然科学基金の重要な役割を発揮させ、基礎学科と最先端の探求にさらに焦点を合わせ、人材とチーム建設を支援する。国家科学技術重大特別項目と国のその他重大プロジェクト、重大事業とのリンクを強化し、基礎研究成果の共有を推進し、基礎研究の基盤作用をしっかりと発揮させる。国の重大科学技術プロジェクトを拡張・実施し、量子通信と量子コンピュータ、脳科学と脳型知性研究など「科学技術イノベーション2030--重大プロジェクト」の実施を加速させ、その他の最先端で戦略的競争が必至な重大基礎分野における将来を見据えた配置を後押しする。国の重点研究開発計画の実施を加速させ、国家重大戦略任務に焦点を合わせ、基礎研究の将来を見据えた配置をさらに強化し、基礎的かつ最先端で、重大なキーとなる基盤技術から応用・モデルに至るまでチェーン全体にわたるイノベーション設計を行い、一体化させて組織・実施する。技術イノベーションリード特別項目(基金)運営メカニズムを健全化し、地方や企業、社会勢力が基礎研究に対する支援に力を入れるよう導く。拠点と人材特別項目の配置を最適化し、基礎研究イノベーション拠点建設と能力向上を加速させ、科学技術資源の開放と共有を促進する。

(6) 基礎研究地域配置を最適化する。国家エリア発展戦略に焦点を合わせ、イノベーションによって東部地区の発展最適化をいち早く実現するよう導き、中西部地区が差別化した跳躍式の発展路線を取ることを後押しし、それぞれ特色のあるエリア基礎研究発展構造を構築する。北京と上海が世界的影響力を持つ科学技術イノベーションセンターを建設することを支持し、粵港澳大湾区(広州、仏山、肇慶、深セン、東莞、惠州、珠海、中山、江門の9市と香港、澳門<マカオ>両特別行政区によって構成される都市クラスター)が国際科学技術イノベーションセンターを作ることを後押しする。北京怀柔、上海張江、安徽合肥など総合的国家科学センターの建設を強化し、オリジナルイノベーションの拠点を確立する。国家自主イノベーションモデル区、国家ハイテク産業開発区的作用を十分に発揮させ、既存の優位性を強く打ち出し、東北と中西部地区の基礎研究配置を強化し、エリアを跨いだイノベーションネットワークを構築する。

(7) 国家重大科学技術インフラ建設を推進する。エネルギー、生命、地球システム・環境、材料、粒子物理・原子物理、宇宙天文、エンジニアリングなどの分野に焦点を合わせ、大学や科学研究所・研究所などの配置を拠り所にして国家重大科学技術インフラを建設する。地方や社会による重大科学技術イ

ンフラ建設投資を奨励・誘致し、施設供給不足問題の解決を加速させる。各種イノベーション主体が重大な科学技術インフラを拠り所にして科学の最先端課題の研究を展開することを支持し、科学的発見とオリジナルイノベーション能力の向上を加速させ、重大な科学技術の飛躍的進歩をサポートする。

3、ハイレベル研究拠点の建設

(8) 国家実験室を配置・建設する。国家目標と戦略のニーズに焦点を合わせ、将来的に発展をリードする可能性のある戦略的攻略ポイントにおいて、突破型、リード型、プラットフォーム型を一体化した国家実験室を統一的に計画・建設し、任務やメカニズム、条件、支援を与え、そのイノベーション活力を引き出す。最も優秀なチームと最も優位性を持つイノベーションユニットを選び、全国のイノベーション資源を統合し、国内外の一流人材を集め、ビッグサイエンス時代の科学研究法則に合った科学研究組織形式の確立を模索する。国家実験室安定支援メカニズムを構築し、重大なリーディング作用のある学際的で協同的なイノベーション難関攻略の取り組みを展開し、国家の意志を体現した、世界一流レベルで、発展をリードする重要戦略科学技術力を育成する。

(9) 基礎研究イノベーション拠点建設を強化する。国家重点実験室の配置を最適化し、最先端、新興、学際的、周縁などの学科および配置が弱い学科について、大学や科学研究院・研究所と中核企業などを拠り所にして一連の国家重点実験室と国防科学技術重点実験室を配置・建設し、学際国家研究センター建設を推進する。企業制に転換した科学研究院・研究所のイノベーション能力建設を強化し、条件を有する企業制転換科学研究院・研究所が科学の最先端と応用基礎研究により多く焦点を合わせるよう導き、業界の発展をリードするオリジナルイノベーション拠点を作り上げる。企業の国家重点実験室建設を強化し、企業と大学、科学研究院・研究所などが研究開発機関や共同実験室を共同建設することを支援し、業界に共通する問題に対応する応用基礎研究を強化する。軍と民間の共同建設、省と政府機関の共同建設、香港・澳門（マカオ）国家重点実験室の建設を推進する。国家野外科学観測研究ステーション建設を強化し、野外観測研究のモデルとなる能力を向上させる。科学技術イノベーション拠点に対する定期評価査定と調整を強化し、従事スタッフの加入・離脱が自由であることを堅持し、持続的なイノベーションの活力を強化する。

4、基礎研究人材チームの拡張

(10) 国際レベルの戦略的科学技術人材と科学技術リーダー人材を育成する。国際的な発展チャンスを把握し、国の重大ニーズをめぐって、人材の育成・導入・使用メカニズムを革新し、国の「千人計画」や「万人計画」などハイレベル人材の導入・育成計画の推進と実施にさらに力を入れ、多くの方面から人材を導入し、広く優秀な人材を集める。中国が優位性を持つ科学研究分野で科学者ワークスタジオを設立し、先見性と国際的視野を持つ戦略的科学者を育成する。人材流動メカニズムを構築・健全化し、人材が大学や科学研究院・研究所、企業間で合理的に流動することを奨励する。

(11) 中堅・青年科学技術人材と将来の科学技術人材の育成を強化する。国際的に通用する訪問学者制度を構築し、ポストドクター制度を整備して、国内外の優秀な青年博士が国内でポストドクター課程での研究を行うよう促す。科学研究院・研究所と大学が協同イノベーションと人材共同育成を強化するよう奨励し、将来的に基礎研究に従事する科学技術人材の育成を強化し、発展のポテンシャルのある中堅・青年科学者が探求性や独創性ある研究を展開することを支援する。

(12) ハイレベル実験技術人材チームを安定させる。実験技術人材およびその職務特性に合った評価体系と奨励メカニズムを構築・健全化し、実験技術人材の地位と待遇を向上させる。実験技術人材、エンジニアリング専門人材、開放サービス人材の育成にさらに力を入れ、科学研究チーム構造を最適化する。実験技術者の研修を強化し、技術能力とレベルを高める。

(13) ハイレベルのイノベーションチームを育成する。国家重大科学技術インフラ、国家重点実験室など研究拠点の集積効果を発揮させ、優秀なイノベーション人材チームが持続的に基礎科学研究に当たることを安定的に支援する。科学の最先端に焦点を合わせ、ハイレベル研究型大学と科学研究院・研究所が優位性ある基礎学科を選んで国家青年エリート育成拠点を建設することを支持し、学際的で総合的な科学研究チームを組織し、協同・協力を強化する。

5、基礎研究の国際化レベル向上

(14) 国際ビッグサイエンス計画とビッグサイエンスプロジェクトを組織・実施する。他国が発起、または複数国が発起した国際ビッグサイエンス計画やビッグサイエンスプロジェクトに引き続き参加し、任務を積極的に担い、運営管理に深く関わり、管理経験を積む。中国の現有の基礎条件に立脚して、潜在的なリスクを総合的に考慮し、中国が先頭に立って組織する国際ビッグサイエンス計画やビッグサイエンスプロジェクト計画を作成し、中国が関連優位性を持つ特色ある分野で協力ポテンシャルのある若干のプロジェクトを選んで重点的に育成を行い、新たな国際ビッグサイエンス計画やビッグサイエンスプロジェクトを発起・組織するよう努力する。国際ビッグサイエンス計画やビッグサイエンスプロジェクトの関連規則の起草策定に主体的に加わる。

(15) 基礎研究国際協力を深化させる。国家科学技術計画の開放にさらに力を入れ、海外の専門家が国家科学技術計画プロジェクトの先頭に立つ、または関与することを支援し、国際的なハイレベル人材が中国で共同研究を行うよう促し、中国の基礎科学研究レベルとオリジナルイノベーション能力の向上を加速させる。「一帯一路」科学技術イノベーション行動計画を実行し、科学技術イノベーション協力の段階とレベルを全面的に高め、「一帯一路」協同イノベーション共同体を構築する。政府間科学技術協力を深化させ、分類ごとに国別戦略を立て、国際イノベーション協力プラットフォームを構築し、科学の最先端課題の研究を共同で展開する。

6、基礎研究発展メカニズムと環境の最適化

(16) 基礎研究トップレベル設計と統一的計画・協調を強化する。統一的計画を強化し、資源要素を集中させ、世界の科学技術発展の最先端に照準を合わせ、オリジナルイノベーションを強く打ち出す。国家科学技術計画（特別項目、基金など）管理政府機関間の合同会議メカニズムの下で、基礎研究戦略諮問委員会を設置し、基礎研究の発展動向を検討・判断し、基礎研究戦略コンサルティングを展開し、中国の基礎研究における重大なニーズと作業配置についての提案を行う。中央と地方、中央政府機関間の協調を強化し、軍と民間の基礎研究の融合的発展を推進する。国際的に一流の科学研究機関、世界の一流大学と一流学科設置状況と結びつけ、基礎研究科学教育の融合を推進する。

(17) 基礎研究多元化投資メカニズムを構築する。中央財政の基礎研究に対する支援をさらに拡大し、大学や科学研究院・研究所、科学者に対する長期的かつ安定的な支援メカニズムを整備する。政府指導、税制上のテコ入れなどを採用し、研究開発費用加算控除などの政策を実施し、新型研究開発機関、共同

資金援助、チャリティー・寄贈などの措置を共同で行うことを模索し、企業と社会が基礎研究への投資を拡大するよう奨励する。中央と地方が共同出資し、共同で国家重大基礎研究任務を組織する新たなメカニズムを模索・実施する。地方政府は現地の経済・社会発展ニーズを結びつけて、基礎研究への支援を拡大する。

(18) 科学研究プロジェクトと経費管理改革をさらに深化させる。基礎研究の法則に合ったプロジェクト組織、申告、評価・審査、政策決定メカニズムを整備し、基礎研究プロジェクトを選ぶ際には研究の方向性、人材チームおよびそのイノベーション能力に対する調査をより重視する。基礎研究プロジェクト任務書と予算書を簡略化し、法人事業者と科学研究者の経費使用自主権を実施し、科学研究者が十分な時間をかけて科学研究に専念できるようにし、経費を創造性ある活動に使えるようにする。国家科学技術イノベーション拠点に直接的委託して国家科学研究任務を担えるようなメカニズムを模索する。

(19) 基礎研究と応用研究との融合を推し進める。オリジナリティと画期性ある発明・創造を重視した上で、スマート製造、情報技術 (IT)、現代農業、資源環境などの重点分野での応用技術イノベーションを大いに推進し、応用研究を通じてオリジナルイノベーションと産業化をリンクさせる。体制メカニズムを革新し、基礎研究、応用研究と産業化のリンクと融合を後押しし、科学研究院・研究所、大学、企業、メーカーなど様々なイノベーション主体の協力・融合を促進し、国家重大科学技術プロジェクトなどを融合的イノベーションの重要な手段とする。企業、特に企業制転換科学研究院・研究所の産学研の深い融合における作用を十分に発揮させ、基礎研究と応用研究の事業化を後押しし、国内外の資金と技術を導入して産業競争力を高める。インターネット時代のイノベーション活動のオープンソース・開放という新たな傾向に適応し、基礎研究組織形式を革新し、基礎研究のクラウドソーシング・クラウドファンディング展開を模索し、様々な形式のイノベーション・チャレンジマッチを実施し、知的財産権保護を強化し、広く知恵を結集して難題を解決するクラウドイノベーション環境を作り上げる。

(20) 科学技術資源の開放・共有を促進する。国家科学技術資源共有サービスプラットフォーム構築と科学データ管理を強化し、国家科学技術イノベーション拠点の計画・配置を統一的にを行い、国家科学データセンター、国家生殖質資源バンク、人類遺伝資源、実験材料バンク (館) の設立を推進し、国防科学技術資源の開放と共有を促進する。重要な基礎科学課題と重大な戦略的ニーズを前にして、基礎的で公益性のある自然バックグラウンドデータ、生殖質資源、標本など科学技術基礎条件資源の収集を強化する。国家科学技術報告制度を整備し、より多くの国家重大科学技術インフラ、科学データ、計器設備が様々なイノベーション主体に開放されるようにする。新規購入大型科学研究計器の重複審査評議を強化し、科学研究施設と計器の開放・共有管理メカニズムと購入後補助メカニズムを構築・健全化する。科学研究施設と計器の開放・共有促進における「イノベーション券」(政府が科学技術型中小企業や新規起業チームに無償で配付し、そうした企業や企業チームが大学や科学研究院・研究所などイノベーションサービス提供機関の資源を利用して研究開発やイノベーション展開を行うよう奨励する目的で使われる)の作用を発揮させ、法人事業者の開放・共有における主体としての責任と義務を強化する。

(21) 基礎研究の特性と法則に合った評価メカニズムを構築・整備する。基礎研究の差別化評価の試行を展開し、各大学、科学研究院・研究所に対して分類評価を行い、相応の基準と手続きを定め、イノベーションの質と学術的貢献を核心とする評価メカニズムを整備する。自由探究型基礎研究については主に研究のオリジナリティと学術的貢献を評価し、長周期評価と国際的な同業者評価を模索する。目標指導型基礎研究については主に重大な科学的課題の解決効果を評価し、プロセス評価を強化し、効果が

長期的な監督管理メカニズムを構築し、イノベーションの効率を高める。大学と科学研究院・研究所が独自に基礎研究を行うことを支持し、大学と科学研究院・研究所の学術的自主権と個人の科学研究テーマ選択権を拡大する。科学技術奨励などの奨励メカニズムを健全化・整備し、科学研究者の荣誉感を高める。イノベーションを奨励し、失敗を許容するメカニズムを構築し、科学研究者が大胆に探求し、未知の事に挑戦できるようにする。

(22) 科学研究の信頼性確立を強化する。科学監督と信頼性教育との結合を堅持し、科学研究者が学術的な誠実さを堅守し、学術的道德を遵守し、学術的人格を備え、学術的尊厳を守るよう教育・指導する。大学、科学研究院・研究所などが学術管理制度を確立・整備するよう指導し、科学研究者の学術的成長の軌跡と学術レベルに対しフォローアップ評価を行い、重要な学術成果発表については審査照合と学術的チェックを強化する。科学研究の不正行為に対する「ゼロ容認」や、正確な科学研究評価指導方向性規定の作成を急ぎ、科学研究の捏造行為の撲滅にさらに力を入れ、中国の科学研究の信頼性の基盤を固める。

(23) 科学の普及を後押しし、科学精神とイノベーション文化を促進する。科学思想普及、科学精神とイノベーション文化の促進における基礎研究の重要な作用を十分に発揮させ、科学者が社会の一般市民に向けて科学の知識を普及させるよう奨励する。国家重点実験室などイノベーション拠点が社会に向けて様々な形式の科学普及活動を展開するよう促す。

国務院

2018年1月19日

(本文書は公開・公布されている)